



かにた 高根小学校だより 第11号 令和6年1月10日

「学校教育目標」かしこく（知）・なかよく（徳）・たくましく（体）

児童数 男子 81名 女子 84名 計 165名



甲辰の年に

校長 原 政幸

「元日や はげしき風も いさぎよし」（日野 草城）初風に新年への希望を乗せて令和6年がスタートしました。本年が、子供達、保護者の皆様、地域の皆様にとって幸多き一年であることを願います。今年も教職員が一致団結して、子供を中心に据え、知・徳・体の調和のとれた教育を推進します。皆様におかれましては、今年も変わらずにご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年は甲辰の年です。甲は物事の始まりととらえることができます。そして辰は発芽した植物がしっかりとした形になる、勢いと大きな力、成功ととらえることができる。このことから、甲辰は、新しいことを始めて成功する、今まで準備してきたことが形になるといった縁起のよい年になると考えられます。高根小学校が、義務教育学校として開校し成功していく、正にそんな1年になってほしいです。

さて、お正月は箱根駅伝をテレビでご覧になった方も多いと思います。結果は青山学院大学が2年ぶりの優勝を飾りました。駒沢大学有利という大方の予想に反し、力強さを見せた青山学院大学の優勝には、自立した選手の主体的な駅伝への取組があったと伝えられています。レース後の原晋監督の談話に「選手には、考える思考、課題解決できる思考を身につけてほしい。」といった言葉がありました。優れた指導者というのは、その分野に精通していることはもちろんですが、それ以上に一人一人のことを温かく、よく見て、それぞれが自ら動ける（自立）ように支えることが大切であると思いました。小学校生活においても、目的やゴールを個々の児童に合わせて設定し、つかみたい目標、を目指し、「やる気自信」を育むにはこのコーチングから学ぶことは多いと思いました。

今日から3学期。子供達にとっては学年の締めくくりであり、新しい学年への準備となる大切な時期です。3月22日の卒業式まで授業日は50日しかありません。3学期はあっという間に過ぎていきます。今学期も充実した教育活動ができるよう努めてまいります。

1日午後4時10分、マグニチュード7.6、最大震度7を観測した「令和6年能登半島地震」がありました。はじめの大きな揺れの後、津波や余震により家屋の倒壊や火災も発生し、石川県を中心に大きな被害が生じてしまいました。この地震により石川、新潟、富山の3県で合計113校が9日を休校としました。また、石川、新潟両県の公立53校には避難所が設けられています。寒さが厳しい時で、8日には北陸地方にまとまった雪が降りました。被災地の復興と被災された方々が一日でも早くもとの生活に戻れることを祈ります。

天災は時を選ばずに生じること、地震の多い日本で生活する私たちは、日ごろから防災の意識をもっていないといけないことを改めて考えさせられました。

高根中学校から図書、教材、備品搬入

今年4月の高根小中学校開校に向けて、高根中学校から教材や備品の第1回目の搬入作業が行われました。12月25日(月)8時30分、第1便のトラックが高根小学校の昇降口前に到着しました。すると、予てより集まっていた卒業生、保護者、地域のボランティアの方々が次々と段ボール箱に入った物品を運び入れてくれました。この日の物品は図書、理科、図工美術、技術科の教材や備品が中心でした。ボランティアの皆さんは重たい図書も、備品も次々と持ち上げて図書室や理科室前などに運び入れてくれました。特に、中学生の活躍は大きく、段ボールを二つも三つも一度に運ぶ姿に頼もしさを感じました。さすが、本校の卒業生！皆さまのおかげで作業は予定より早く無事に終了することができました。



大谷翔平選手からグローブが届きました

アメリカ大リーグドジャースに移籍した大谷翔平選手が日本国内約2万校の全小学校に寄贈したグローブが、昨年末、高根小学校に届きました。

ジュニア用グラブ3個、「野球しようぜ！」のメッセージカードが添えられています。

このグローブは大谷選手の寄贈への思いを尊重して飾っておくのではなく本校の子ども達に使ってほしいと思っています。ベースボール好きなそして、運動好きな児童が一人でも多くなってくると嬉しいです。



不思議

折原 みと

不思議だね、ここにいること。
同じ時間の中に生まれて、
ここで、こうして出会えたこと。

こんなに広い、星の上で、
こんなに、近くに生まれたこと。

もし、この出会いが、
神様のホンの気まぐれでも、
教室で、机を並べてるみんな、
帰り道、すれちがう人たち。
隣で笑っているあの子。
幼なじみのあいつが、

とても、不思議に、
トクベツに見えた。

出会えたこと不思議
さ、普通に生きているこ
とのありがたさを感じま
す。大切にしたいですね。

